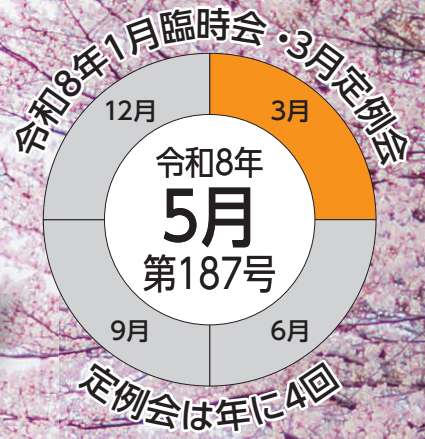




# 議会だより



## 議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。詳しくは議会事務局までご確認ください。

### 6月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
		本会議 市長提案 理由説明		本会議 質疑・委員会 付託		
7	8	9	10	11	12	13
	総務文教 常任委員会				環境厚生 常任委員会	
14	15	16	17	18	19	20
	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
21	22	23	24	25	26	27
		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決				



市議会HP



市議会ライブ配信

当初予算審査報告	32P
1月臨時会・3月定例会リポート	34P
議決結果一覧	36P
会派代表質問	37P
個人質問	41P
意見交換会の開催のお知らせ	44P



予算特別委員会にて一般会計・特別会計・企業会計の当初予算の審査を行い、3月23日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

会計区分	本年度の予算	前年度の予算	増減
一般会計	347億5,073万円	337億4,935万円	10億 138万円 増額
特別会計	157億8,177万円	153億9,133万円	3億9,044万円 増額
企業会計	52億3,259万円	50億2,957万円	2億 302万円 増額
総計	557億6,511万円	541億7,025万円	15億9,485万円 増額

特別会計：国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計、筑紫地区介護認定審査会事業特別会計

企業会計：水道事業会計、下水道事業会計

※金額の端数を省略しているため、総計にずれが生じている場合があります。

## 当初予算のココに注目! 新年度予算を総チェック



**質問：**防犯カメラに関連して、カスハラ対策として庁舎内の防犯カメラの設置はないのか

**回答：**職員からの設置要望の声もあり、対応を検討しているところです。

**質問：**市長と語る会の実施予定について

**回答：**令和3年度に市長と語る会（1回目）がコロナ禍のため途中で中止になり、実施できなかった自治会を優先的に考えています。

**質問：**公用車の調達方法（購入・リース）について

**回答：**公用車を15年以上使用すると想定し、リースよりも購入の方が経済的と考えていますが、今後リースも含めて検討する必要があると考えます。



**質問：**ふるさと納税寄附（15億円）のうち、返礼品代、事務費等を差し引いた実質的な歳入の見込額はいくらになるのか

**回答：**15億円のおおよそ半分が、市の歳入となる見込みです。



**質問：**「自治基本条例」の4年ごとの見直しをいつやるのか

**回答：**令和8年3月末で4年となるため、現在、全庁的な検証を行っているところです。

**質問：**国が進めるガバメントクラウド（システムの標準化）への本市の移行状況について

**回答：**対象事業である20業務のうち、健康管理システムを除く19業務が令和7年度中に標準化対応となり、残る健康管理システムについては、令和9年2月に標準化の予定です。

**質問：**「敬老祝い品」（607万円）と「敬老事業費」（2,844万5千円）について

**回答：**「敬老祝い品」は、88歳（446名）と99歳（59名）に1万円、100歳（51名）に2万円を贈呈します。「敬老事業費」は、77歳以上の高齢者の人数に2,500円を乗じた金額を、自治会に交付しています。

**質問：**「ヤングケアラーに関するアンケート調査（45万円）」の実施内容について

**回答：**学校関係者と連携して、子どもたちが回答しやすいタブレットやスマートフォンを使う方法での調査を予定しています。



**質問：**元気づくりポイント制度のリニューアル内容について

**回答：**福岡県が実施している「ふくおか健康ポイントアプリ」を活用します。従来のスタンプカードについても、令和8年度中は併用して使用できますが、それ以降は、アプリ方式に一本化したいと考えています。



**質問：**令和7年度に夏の猛暑対策として購入したミストシャワーの台数と、それらの運用経費の状況について

**回答：**10台購入・配置しています。運用経費については、事業者の方々のご理解の上、ご負担頂いています。



**質問：**観光費について、太宰府館関係の経費を除くと約7,400万円であるが、この程度の予算規模で観光政策を賄えるのか

**回答：**一概に予算規模で評価するのではなく、観光コンテンツの造成や、地域との関係者との取り組みなどが大事になるのではないかと考えています。



**質問：**小学校の給食費無償化に関して、国・県の補助金の内訳について

**回答：**児童一人当たり月額5,200円が国・県から補助されます。



**質問：**中心市街地活性化検討業務委託料（524万7千円）の内容について

**回答：**いきいき情報センターを含む西鉄五条駅周辺について、整備方針の検討を進めるための業務委託費を計上しています。

**質問：**デマンド交通の運行業務委託料（6,789万3千円）の内容について

**回答：**実証運行中の星ヶ丘・高雄エリアと市役所周辺エリアの、システムの使用料等、運行を行うための費用です。それに合わせて、水城・国分周辺等のエリアにおけるデマンド交通の運行可能性を調査・分析するための実証運行の費用を計上しています。

**質問：**スケートボードパーク（横17メートル、縦37メートル）の平均利用者は

**回答：**一日平均で3人の予想です。近隣都市の他の事例を見ても同等で、全面で10人ほどが利用できる想定です。



○市道認定

◆宅地造成により寄附を受けた隈4号線（朱雀三丁目）について市道認定しました。《議案第8号》

可決

○条例

◆太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について  
⇒太宰府市人権センター等整備検討委員会、太宰府市公共施設整備検討委員会および太宰府市五条地区活性化検討委員会設置に伴い、条例の一部を改正するものです。《議案第10号》

原案可決

◆太宰府市立小学校及び中学校施設使用料の条例の一部を改正する条例について  
⇒市内の一部の小中学校の体育館に空調設備およびシャワーを設置したことに伴い、条例の一部を改正するものです。小・中学校の「体育館空調」の使用料を1時間につき1,000円、半面使用は500円、また、「体育館シャワー」の使用料を5分につき100円に設定しています。《議案第12号》

原案可決

◆太宰府市立運動公園条例の一部を改正する条例について  
⇒太宰府市立松川運動公園内にスケートボード場を設置することに伴い、条例の一部を改正するものです。施設使用料として1回につき一般は300円、小・中学生は100円、また、備品使用料としてヘルメットとプロテクターそれぞれ100円に設定しています。《議案第13号》

原案可決

○令和7年度一般会計補正予算（第8号）（第9号）

◆歳入・歳出それぞれ9億7,723万5千円を追加し、総額は391億4,701万6千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
戸籍住民基本台帳費	400万4千円 (第8号)	マイナンバーカード表記対応事業 国外転出者のマイナンバーカードへの旧氏および旧氏の振り仮名表記等の実施に伴い、住民基本台帳システム等を整備するものです。
上水道費	1,569万5千円 (第9号)	上水道事業関係費 昨年9月以降の小雨により筑後川水系のダム貯水率が著しく低下していることから、本市水道事業において節水の呼びかけや減圧給水を実施している中、漏水対策に要する経費の増加が見込まれており、安定した事業運営と市民生活に必要な給水体制を確保するために、一般会計から水道事業会計へ補助するための費用を計上するものです。
小学校費	8億7,522万2千円 (第9号)	小学校施設整備費、中学校施設整備費 太宰府小学校および太宰府西小学校の教室棟長寿命化改良事業、太宰府小学校運動場整備工事並びに小中学校の照明器具LED化改修工事について、国の令和7年度補正予算（第1号）にて補助事業として採択され、より有利な財源を活用して事業が実施可能となったこと並びに工事の早期着工、発注時期の平準化をはかるために、令和7年度への事業を前倒しする費用を計上するものです。
中学校費	4,577万1千円 (第9号)	

○令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

◆歳入・歳出それぞれ2,134万4千円を追加し、総額は65億7,787万9千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
総務管理費	334万4千円	介護保険システム改修委託料
介護サービス等諸費	1,800万円	居宅介護サービス給付費が不足する可能性があるため増額するものです。

# 1月臨時会 3月定例会レポート

○第1回臨時会（令和8年1月20日） 会期1日間

○人事

◆市監査委員として、今泉義文氏を選任することに同意しました。  
《議案第1号》

同意

○専決処分

◆遊離石灰落下による車両損傷事故の損害賠償の額の決定について  
⇒損害賠償額は600,102円で、本市が加入する道路損害賠償保険および本市予算で相手方に全額支払いました。《報告第1号》

○令和7年度一般会計補正予算（第7号）

◆歳入・歳出それぞれ7億9,645万3千円を追加し、総額は381億3,124万5千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
社会福祉費	4億1,051万5千円	食料品等物価高騰支援金給付事業費 4億565万9千円 食料品等の物価高騰による家計への負担を軽減するため、19歳以上を対象に住民税非課税世帯の方一人当たり8,000円、住民税課税世帯の方一人当たり5,000円を給付するものです。 高齢者施設等関係費 473万円、障がい者施策等推進費 12万6千円 高齢者施設や障がい福祉サービス事業所等の物価高騰による負担を軽減し、継続したサービスの提供を支援するものです。
児童福祉費	3億2,219万8千円	物価高対応子育て応援手当給付費 2億7,507万9千円 物価高騰による子育て世帯への負担を軽減し、子どもたちの健やかな成長を応援するため、高校生年代（18歳以下）の子どもがいる世帯に対し、子ども一人あたり2万円を給付するものです。 市立保育所管理運営費 7万2千円、教育・保育施設費 154万7千円 保育所等の物価高騰による負担を軽減し、継続したサービスの提供を支援するものです。

○第1回定例会（令和8年2月26日～3月23日） 会期26日間

○人事

◆人権擁護委員として、田淵明彦氏を適任と認めました。  
《諮問第1号》

適任

◆太宰府市固定資産評価審査委員会委員として、植中美紀氏を選任することに同意しました。《議案第5号》

同意

○財産の取得

◆史跡地の土地を10,544.64㎡（約1億9,031万円）取得します。  
《議案第7号》

可決





未来のまち  
木村 彰人 議員



録画映像はこちら

### 問 積極財政を改め、堅実財政へシフトせよ

**Q** 市政史上最高額の一般会計予算額と、行財政改革の推進について、積極財政の空気に流されず、財政規律を堅持することが、市民の信頼を守り、将来のまちの力を左右すると確信していることから3点伺う。

**A** ①一般会計予算額は市政史上最高額となるが、必要かつ最小限の経費で行政を運営するために、歳出を抑える意識はあるか。  
②行財政大綱に基づく行財政改革の取組を継続しなかった理由は。  
③市長の掲げるスローガンと5つの施策を具体的にどのように実現するのか。

① 地方自治は常に効率性を意識しながら進めなければならないと考えています。効率性を追求する姿勢は、地方公共団体としての活動全般における基本的な原則であり、今後もこの原則を堅持し、市民の皆様へ信頼される行政運営を心掛けていきます。  
② 平成17年度から平成23年度までを期間と

### 問 コミュニティバスの運行計画をどう考えるのか

**Q** 交通環境の再構築におけるコミュニティバスの運行について4点伺う。  
①可能な限りの便数を確保するとの市の方針と今回の減便との整合性をどのように説明するのか。  
②事前に丁寧な住民説明会や周知の機会を設けたのか。また、その内容について。  
③代替交通の検討はなされているのか。  
④減便の代替案を示し、市民の交通権を守るという強い意志の下での減便なのか。市の基本方針を問う。

**A** ① 運転士不足により現行体制の維持が困難であるという西鉄の申し出を受け、ダイヤ改正を行い、限られた運転士数の中、現行の7割以上の運行便数を確保することに至りました。  
② 自治協議会全体会や役員会で説明するとともに、改正後ダイヤを市広報でお知らせした他、公共施設への掲示、バス車内での案内などで周知に努めています。今後、丘



ネクスト太宰府  
馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

#### 全質問項目

- 市民農園の整備について
- 地域の居場所づくりの推進について
- スケートボードパークの整備について
- 市長と語る会について
- コミュニティバスの運行について
- 太宰府市観光交流センター（仮称）整備運営について
- 文化に触れる機会の提供について



太宰府市民の声  
長谷川 公成 議員



録画映像はこちら

### 問 空き家の適正管理に早急な対応を

**Q** 近所付き合いのない方が、近隣住民に何の連絡もなく引越され、結果、当該住宅が空き家となり、管理も行われず放置されている。そのため、木々は伸び放題となり、コウモリなど野生動物のふん害により衛生面の懸念も生じ、近隣住民は非常に迷惑している。

市に相談し、相手方に連絡してもらい、管理を促すも全く動きがない。そのような現状を踏まえ、早急に対応する必要があると考えるが、相続財産管理人等の選任申立てによる解決が可能か。

**A** 相続財産管理人等の選任申立制度は、管理人が不存在の空き家を対象であり、所有者が確認出来る空き家には当該制度の活用は難しい状況です。  
市では平成28年度に実態調査を実施後、令和2年3月に空き家等対策計画を策定し、空き家の予防・管理・流通・活用に取組んでいます。  
また関係機関、団体の専門家との連携を



#### 全質問項目

- 空き家の適正管理について
- メタバースを活用した不登校支援について
- 不登校児童生徒支援の推進について
- 区自治会、校区自治協議会に対する運営支援について
- 防災備蓄機能の強化について



公明党  
堺 剛 議員



録画映像はこちら

### 問 デマンド交通の運行による交通環境の再構築を

**Q** 太宰府市の公共交通について4点伺う。  
① デマンド交通について、現在の実証運行の成果と課題をどう分析したのか。また、その結果を踏まえ、どのようなロードマップを描いているのか。  
② 各交通モードの役割整理と一体的な再編の方向性をどのように検討しているのか。  
③ デマンド交通の具体的な利用促進策は。  
④ デマンド交通を持続可能な仕組みとして定着させるための運用・評価体制をどのように構築していくのか。

**A** ① 実証運行開始から、延べ2400人超が利用しています。のりこ  
と太宰府の運行時間中には路線バス星ヶ丘線や乗合ジャンボタクシーも運行していることから、令和8年4月以降の利用等を踏まえ、状況の把握・調査分析を行っていきます。  
② あらゆる交通手段や交通資源を活用した交通体系の構築を目指すことが重要な視点



#### 全質問項目

- 自治体DXの推進について
- 小学校給食の無償化・中学校給食の10割補助について
- 市民の森の整備推進について
- デマンド交通の運行について
- 窓口機能の充実・強化について

# ここが聞きたい 個人質問



## 個人質問 質問項目一覧表

議員名	全ての質問項目	ページ
タコスキッド	公園で遊ぶ子ども達の実態について	41
	手話通訳者の処遇改善について	
	市民農園について	
	地域生活支援事業について	
神武 綾	持続可能な介護保険制度の構築について	42
	すべての子どもたちの学びの保障について	
瀬筒 義久	地域猫活動について	42
	立地適正化計画について	
原田久美子	地域公共交通について	42
	移動スーパー事業について	
陶山 良尚	元号「令和」を活かした今後のまちづくりについて	43
岡林 直人	「市民の意見箱」の活用について	43
	選挙の投票率向上について	
	今夏の猛暑対策について	
川口 親丸	コミュニティバス「まほろば号」について	43
	小学校給食の無償化および中学校給食の10割補助について	
	財政調整基金について	

本会議の録画映像の配信を行っています。

質問者のページに表示している二次元バーコードから、録画映像にアクセスできます。

**A** ①都市公園におけるボール遊びについては、硬いボールは運動施設を有する公園を除き禁止しています。一方、やわらかいボールについては基

**Q** 市内の多くの公園ではボール遊びが禁止されており、フェンスの設置やルールづくりによって、公園で遊ぶ子どもたちの環境を改善すべきであると考えています。②公園の利用制限を緩和するには地域住民との合意形成が重要であると考えています。一定のルールの下で子どもたちが公園でボール遊びを行えるようにすべきと考えるが市の見解を伺う。

本的に制限しておらず、市内141か所の都市公園で利用できます。②公園利用に関するルールや設備については、より柔軟で適切な対応が必要と認識しています。地域住民の皆さまとの対話の場を設け、意見を丁寧に伺いながら、公園のあるべき姿をともに考えていくことが重要です。今後は、近隣自治体の事例も参考にしつつ、地元自治会と協議を重ねながら調査研究を進めていきます。



**問** 子どもが安心してボール遊びできる公園づくりを進めよう  
**タコスキッド 議員**



## 問 こども誰でも通園制度開始に向けて



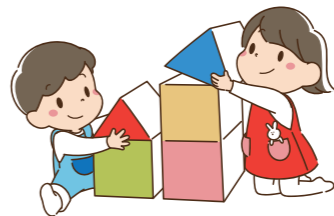
すまいる太宰府  
 原 紳次郎 議員



録画映像はこちら

**Q** 乳児等通園支援事業、いわゆる「こども誰でも通園制度」が4月から開始されるにあたり、システム環境の整備、事業所職員の研修・教育・資質の醸成など多岐にわたる制度、整備、手続の進捗状況はどうなっているのか。

**A** 令和8年度から実施すべく、保育所や幼稚園などの事業者とも、事業を実施する上での疑問や不安点なども含めて慎重丁寧な協議を重ねながら準備を進めてきました。4月から、3つの施設において定員18名で開始を予定しており、3月から市民の方の利用申請の受付も開始しています。



### 全質問項目

また、利用開始時に発生する様々な対応を現場任せにしないために市として受け入れのケアをどのように考えているのか。

- 乳児等通園支援(こども誰でも通園制度)について
- 高齢者へのエアコン購入費用の助成について
- 介護のしごと魅力発信・人材確保定着について
- 地区公民館施設整備の促進について
- 大宰府政庁前駐車場の活用について
- 公共施設LED化の推進について
- 総合計画の策定について

## 問 今後の行政運営を市長はどう考えるのか



宰光  
 入江 寿 議員



録画映像はこちら

**Q** 施政方針で市長は市職員に対して、「職員の力が市政を支えている、行政のプロとして誇りを持って行政運営に携わってもらいたい」と、トップとしての考え、思いを述べている。市職員の日頃の頑張りに対する評価、叱咤激励等々を述べ、行政運営をワンチームとして実施していく決意を述べているため市長に2点伺う。

①市職員に対する考え。

②市政に対する決意。

**A** ①私も長く本市役所に勤め、職員とともに汗をかきながら、同じ目標に向かって様々な業務に取り組んできました。職員一人ひとりがその力を十分に発揮でき、誇りを持って働ける行政運営体制をつくることは、市民サービスの向上を図る上で大変重要な点であると考えています。

②これまでの行政経験を生かし、次世代に責任を持って歴史と緑豊かな美しい太宰府市を継承していくため、市民の声を市政に

### 全質問項目

- 冒頭フレーズについて
- 都市計画マスタープランの改定について
- 地域経済の活性化・起業創業支援について
- 太宰府小学校長寿命化改良について
- オーバートリズム対策について





問

持続可能な介護保険制度を  
目指せ

神武 綾 議員



第10期介護保険事業計画策定に向けて、第9期における進捗と今後の方向性について3点伺う。

①介護保険料の改定について、今期の引き上げによる運営への影響は。  
②在宅介護を支える訪問介護事業所の需要と供給のバランスの現状は。  
③地域支援事業のうち、地域包括支援センターの運営状況と、アウトリーチ型の集いの場・教室づくりの進捗は。

①第9期改定で、基金の活用額を増やして保険料の上昇幅を抑えましたが、後期高齢者人口が増加する中、介護給付費等の伸びは顕著なものとなっています。  
②国の報酬改定の影響や人材不足の面から、訪問介護をはじめとした介護事業所全体が厳しい状況であることから、本市で

は、就職フェアや人材確保支援の補助金制度の創設などを行っています。訪問介護の利用件数が増加しているため、今後も需要と供給のバランスを注視していきます。

③地域包括支援センターへの相談件数は増加傾向にあり、介護や医療に関する相談に加えて、複合的課題を含むケースが増加しています。アウトリーチ型の集いの場・教室づくりの進捗について、専門職による地域出前講座を展開し、介護予防の普及啓発に努めています。



地域猫活動について5点伺う。

①地域猫活動の実施状況、不妊・去勢手術補助金の執行状況、苦情内容と件数は。  
②不妊・去勢手術補助金申請の簡素化に向けた検討状況は。  
③地域猫活動のボランティア団体の認定や登録制度、活動を継続しやすくする支援策は。  
④高齢者による多頭飼育崩壊の問題に対する民生委員や自治会との連携対応を行う考えはあるか。  
⑤周辺自治体と連携して広域的に地域猫を市民に理解してもらうための説明会や出前講座等の開催について

①補助金執行状況は、予算計上した100万円全額分交付を予定しており、活動支援を進めています。相談件数は、令和6年度13件、

令和7度10月現在20件です。

②指定動物病院を7か所に増やし、申請を通常可能とし、様式改正を進めています。  
③地域猫サポーターを登録し、活動の円滑な導入や適正管理を支援しています。  
④高齢化に伴い飼育困難になった場合、民生委員などを通じて相談を受けており、関係部局と情報共有を図りながら対応しています。  
⑤近隣市と連携した動物愛護の普及啓発活動を実施し、地域猫対策に関する情報交換も行っているため、広域的に連携した出前講座の開催などの可能性について調査研究していきます。

①令和8年2月末時点で提言件数が125件、前年度が85件であることから増加の傾向にあります。教育・文化に関するご意見を多く頂戴しています。  
②8つの分野に分類し、氏名、年齢、性別、回答の可否、HPへの掲載の有無、関係課、投函場所、受付日などにより整理し



問

地域公共交通を  
利用者のために

原田 久美子 議員



本市は県内初のコミュニティバスとして、平成10年4月にまほろば号の運行を開始し、道路が狭い地域には、平成23年に地域線の運行を開始した。しかし、現在では運転士確保が困難という理由でまほろば号のダイヤ改正、路線バスの減便がなされたため2点伺う。

①まほろば号のダイヤ改正の決定方法および利用者への周知状況。  
②AIオンデマンド交通「のーと太宰府」の利用方法および現在までの利用者数。

①西鉄からの当初の申出では車両数や運転士数が6割程度まで減少する内容でしたが、限りある車両数、運転士数で可能な限りの移動手段の確保に努めた結果、7割以上の運行便数を確保しました。



まほろば号時刻表の表紙

事前周知として、自治協議会での説明、広報紙・HP・バス停・バス車内・公共施設でのお知らせなど可能な限りの手法により周知に努め、加えて、当該地域にお住まいの方々への説明の機会を設けます。

②予約に応じて運行を行う特徴のため、電話・LINE・専用アプリで予約し、乗降ポイントに迎えに来た車両に乗車していただきます。現在までの利用者数は延べ2400人を超えています。



問

「令和」を活かした  
今後のまちづくりを

陶山 良尚 議員



元号「令和」を活かした今後のまちづくりについて4点伺う。

①令和改元5年記念事業の評価と今後の「令和」の活用の方向性は。  
②(仮称)令和万葉館の設置に向けた進捗状況について  
③万葉集に縁のある自治体との新たな連携について  
④今後の取り組みについて

①「令和改元記念日」の設置について  
②時代行列の実施について

①知名度向上や交流機会の創出につながり一定の効果があったと認識しています。今後は、市内外への情報発信の強化、回遊性向上に向けた施策など、持続可能な展開を検討します。  
②文学や文学者に関係する他自治体の施設に対し

て、現地調査やアンケート調査を行いました。これまでの取組を生かしつつ、今後も本市にふさわしい施設や情報発信の在り方について引き続き調査研究していきます。

③今後、具体的な検討を行っていくにあたり、本市の文化・観光振興にどのような生かせるかという観点から、必要に応じて情報共有や連携の可能性について調査研究していきます。  
④①郷土愛の醸成や市民意識の高揚を図る上で効果的な視点ですので、他自治体の事例を参考に検討していきます。

②文化・観光施策としての効果等を総合的に判断しながら検討していきます。



坂本八幡宮

「市民の意見箱」は、広く市民の声を聞き市政に生かすための重要な仕組みである。さらなる活用のため3点伺う。

①令和7年度の実施結果と前年度との比較、主な内容について  
②集計および分析の方法、関係部署への共有の方法、具体的な活用方法について  
③より多くの意見が寄せられるための新たな取り組みについて

①令和8年2月末時点で提言件数が125件、前年度が85件であることから増加の傾向にあります。教育・文化に関するご意見を多く頂戴しています。  
②8つの分野に分類し、氏名、年齢、性別、回答の可否、HPへの掲載の有無、関係課、投函場所、受付日などにより整理し

問

「市民の意見箱」の現状と  
今後の取り組みは

岡林 直人 議員



ています。意見箱から回収、受付後は市長・関係課に回覧し、個別の案件について丁寧に対応しています。

③市民からより多くのご意見を頂戴するために、様々なツールを用意する必要があり、市民の意見箱に対しての改善や増設等の要望はありませんが、意見を頂戴する方法としてどのような方法が最適か、時代の流れとともに常に研究していく必要があると考えます。

①令和8年2月末時点で提言件数が125件、前年度が85件であることから増加の傾向にあります。教育・文化に関するご意見を多く頂戴しています。  
②8つの分野に分類し、氏名、年齢、性別、回答の可否、HPへの掲載の有無、関係課、投函場所、受付日などにより整理し

本市は県内初のコミュニティバスとして、平成10年4月にまほろば号の運行を開始し、道路が狭い地域には、平成23年に地域線の運行を開始した。しかし、現在では運転士確保が困難という理由でまほろば号のダイヤ改正、路線バスの減便がなされたため2点伺う。

①まほろば号のダイヤ改正の決定方法および利用者への周知状況。  
②AIオンデマンド交通「のーと太宰府」の利用方法および現在までの利用者数。

①西鉄からの当初の申出では車両数や運転士数が6割程度まで減少する内容でしたが、限りある車両数、運転士数で可能な限りの移動手段の確保に努めた結果、7割以上の運行便数を確保しました。

問

「まほろば号」の  
運転士の確保を

川口 親丸 議員



市民の皆さまから様々な声が寄せられ、特に「まほろば号」などのバスの減便について、大変切実な声をいただきました。学生や子育て世代、高齢の方など幅広い方が現状や将来に不安を感じている。運転士の確保が困難な状況にある中、慢性的な運転士不足や、時間外労働の上限が規制される2024年問題も重なり、今後さらに運転士が減少する見込みである。これまでの運転士確保に向けた対策とその成果について伺う。

全国的に運転士不足が深刻であり、公共交通の確保が危機的な状況の中、運転士を確保するための施策として、本市では令和7年6月に第二種運転免許取得支援事業を創設しました。本事業は第二種運転免許を取得した人を対象に費用

の一部を補助するものであり、市民の就業機会の拡大及び運転士確保を図るとともに、市内を運行する乗り合いバス路線、タクシー事業者の維持・確保を図ります。今後、国や県の取組とも連携して運転士確保に取り組んでいきます。



令和8年度 太宰府市議会

# 市民と議会の意見交換会

## 5月10日



「市民と議会の意見交換会」を開催いたします。  
私たちの住む太宰府のまちについて、あなたの声をお聞かせください。  
議員一同、皆様のお越しを楽しみにしています。

●場 所 いきいき情報センター 2階 研修室  
(太宰府市五条三丁目1番1号)

●時 間 10:00 ~ 12:00 ※9:30開場です。

●定 員 申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。

●内 容 10:00 ~ 10:05 ( 5分間) 開会行事  
10:10 ~ 10:40 (30分間) } 常任委員会ごとに  
10:50 ~ 11:20 (30分間) } 分かれて意見交換  
11:30 ~ 12:00 (30分間)



託児サービスをご希望の方は、5月7日(木)までに  
議会事務局までお申し込みください。

### ◇編集後記◇

新緑の季節、いかがお過ごしでしょうか。  
昨年12月に初当選し、今回初めて議会で  
一般質問に立ちました。

40年にわたり番組制作に携わってきた経  
験から、議会はどうか「番組」のようだと  
感じています。限られた時間の中で構成を  
考え、質問と答えが交わされ、その様子が  
配信される。何が起るかわからない緊張  
感も含めて、市民の皆さまに開かれた場  
であると改めて実感しました。

その一方で、議会がより身近に感じられ  
る存在であることも大切だと感じていま  
す。議論の一つひとつが、市民生活にどう  
つながっていくのか。その視点を大切にし  
ながら、これからも向き合ってまいります。  
ぜひ一度、議会を傍聴にお越しください。  
また、インターネット配信もご覧いただけ  
れば幸いです。

今後とも議会にご注目ください。

(瀬筒義久)

発行責任者

議長 長小畠 真由美

議会広報特別委員会

委員長 タコス キッド

副委員長 瀬筒 義久

委員 木村 彰人

委員 今泉 義文

委員 原 紳次郎

委員 岡林 直人

委員 久和 満晴